

◆ 軽部さん

藤岡市教育委員会では、小中学生を対象に高山社学というカリキュラムを組み、養蚕に触れながら高山長五郎や町田菊次郎の活動や精神を学んでいただく機会を設けています。また、小坂さんに大人のための高山社学を立ち上げてもらえないかと相談をしているところです。地域になじんだ形で伝統や文化を学ぶ機会を増やし、輪をつくって考えていきたいと思っています。

◆ 白石さん

御神輿は48年間担いでいませんでした。そのため担ぎ方が分からないという問題があり、昔担いだ方の話を聞いたりもしたのですが、新たな担ぎ方を取り入れることにしました。このように、新しい伝統を作ることも、古い歴史を残すことに繋がるのだと考えています。100年後も担ぐため、現在147年ぶりの大修理を行っています。100年後も残すためには、皆が興味を持って楽しみながら取り組むことが必要だと思います。

◆ 小坂さん

この地域が栄えたのは生糸の生産ではなく生糸の流通です。交通の便が良く、ある意味で地域性が非常に弱い地域だと思いますので、他の地域から来る素晴らしさを消化して、藤岡の文化として発信することが必要です。その時代で常に新しいものを吸収して消化する、かつ地元のを大切にすることが求められると思います。

交流会

親睦交流会では、高山社跡の世界遺産登録推進公認キャラクターである「まゆダーマン」にも来ていただき、和やかな雰囲気でお交流を深めることができました。

